

企画展

祈りと救いの美

— 国宝 普賢菩薩騎象像との出会い

Meeting with the Bodhisattva Samantabhadra Riding an Elephant (National treasure)

都内の国宝仏像2軀の内のひとつ

2026 TUE 7.28 - SUN 9.27

●前期：7月28日(火)～8月30日(日)

●後期：9月1日(火)～9月27日(日)

*展示替あり

●開館時間

10:00～17:00(入館は16:30まで)

●休館日

毎週月曜日(休日の場合は翌平日)

●入館料

一般1,000円

大学生・高校生 800円、中学生以下無料

※同会期中のリピーターは500円引き

(一般、大学・高校生料金お支払いの方のみ)

※20名様以上の団体は500円引き

※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方と

その同伴者1名は無料

※お着物(和装)で来館の方は300円引き

※ミュージアムパスポート5,500円

※オークラ東京とのセット鑑賞券

(ランチセット6,000円、茶菓セット3,100円)

[割引併用不可]

普賢菩薩騎象像(部分) 平安時代・12世紀 国宝 大倉集古館蔵【通期】

大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART

東京都港区虎ノ門2-10-3(オークラ東京前)

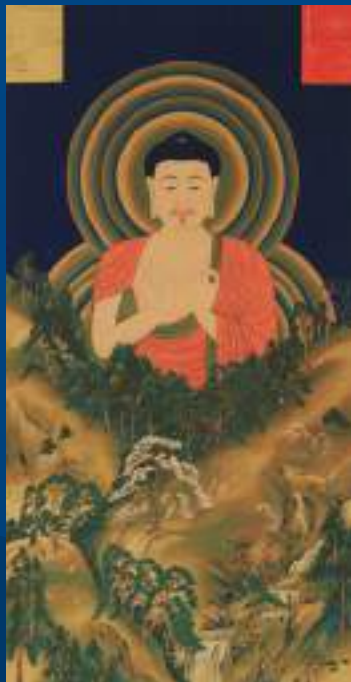
祈りと救いの美

— 国宝「普賢菩薩騎象像」との出会い

さまざまな近代事業を展開した大実業家、大倉喜八郎（1837～1928）は、廃仏毀釈による寺院の荒廃、仏教美術品の散逸や海外流出を憂い、それらを含む日本・東洋の古美術品を収集しその保護に努めました。そして1917年に私立美術館、大倉集古館を設立し作品を公開することでその価値を世間に広く知らしめました。本展では、当館の収蔵品の柱の一つである仏教美術の作品を、「經典と仏教伝来」「釈迦如来とその弟子」「極楽浄土と地獄」「法華経信仰と普賢菩薩」「密教」「神仏習合」の6章に構成し、仏教美術の流れを紹介すると同時に、東京都内で銅造釈迦如来倚像（深大寺蔵）と合わせて2点しかない国宝の仏像の一つ、「普賢菩薩騎象像」も展示します。本像の平安時代後期を代表する繊細優美な姿や、華麗な彩色と緻密な截金をご堪能いただければ幸いです。



2



1

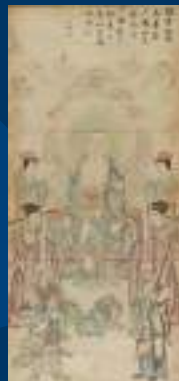
1. 山越阿弥陀図(部分) 冷泉為恭 文久3年(1863) 重要美術品【通期】
 2. 石清水八幡曼荼羅図 鎌倉時代・13世紀 重要文化財【後期】
 3. 平家納経 経箱(構造) 田中親美 大正～昭和初期・20世紀【通期】
 4. 平家納経 観普賢経(模本)(部分) 33巻の内 田中親美 大正～昭和初期・20世紀【通期】
 5. 聖徳太子勝鬘経講讃図 鎌倉時代・14世紀 重要美術品【通期】
 6. 探幽縮図 地獄十王図巻(部分、地藏菩薩) 2巻の内 狩野探幽 江戸時代・17世紀 重要美術品【前期】
 7. 探幽縮図 地獄十王図巻(部分、閻魔王) 2巻の内 狩野探幽 江戸時代・17世紀 重要美術品【後期】
 8. 一字金輪像 鎌倉時代・13世紀 重要文化財【後期】
- 掲載作品はすべて大倉集古館蔵



8



7



6



5



3



4



公益財団法人 大倉文化財団
大倉集古館

TEL:03-5575-5711

FAX:03-5575-5712

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-10-3
(オークラ東京前)HP: <https://www.shukokan.org/>

東京メトロ

- 南北線「六本木一丁目駅」中央改札口(泉ガーデン方面)より5分
- 日比谷線「神谷町駅」4b出口より7分
- 銀座線 ● 南北線「溜池山王駅」13番出口より10分
- 日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」A2a出口より8分

● スライドトーク

「じっくり見よう仏教美術」

国宝「普賢菩薩騎象像」をはじめとする展示作品の詳細画像を使って、作品の見どころ解説をします。

担当：平塚泰三(学芸部長)

日時：8月26日②、9月16日② 各14:00から(約50分)

会場：大倉集古館 地下1階ホール

聴講料：無料(ただし入場には入館券が必要です)

定員：60人(事前申込制、先着順)

お申込み：大倉集古館

TEL:03-5575-5711(月～金10:00～17:00)

● 当館学芸員によるギャラリートーク

担当：平塚泰三(学芸部長)

日時：8月4日②、9月8日② 各14:00から(約1時間)

会場：大倉集古館展示室 1階EV付近にお集まりください。

お申込み：不要(入場には入館券が必要です)